

松本山雅 FC オフィシャルパートナー記念 カンロ「バナーお披露目・キャンディ進呈式」を実施 信州エリアで更なる地域貢献活動を開始

カンロ飴やピュレグミなどでおなじみのカンロ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 村田 哲也、以下カンロ）は、プロサッカーチーム・松本山雅フットボールクラブを運営する株式会社松本山雅（本社：長野県松本市、代表取締役社長：小澤 修一、以下 松本山雅 FC）と2026年2月よりオフィシャルパートナー契約をしたことを記念し、「バナーお披露目・キャンディ進呈式」を松本山雅 FC のホームスタジアムであるサンプロアルウィンにて実施しました。



中央左：カンロ 村田哲也社長、中央右：松本山雅 FC 小澤 修一社長
カンロ社員

当日は、松本山雅 FC 小澤 修一代表取締役社長、カンロ株式会社 村田 哲也代表取締役社長のほか、カンロの松本工場・朝日工場で働く従業員 4 名も出席し、松本山雅 FC へのキャンディ進呈とともに、スタジアムに掲出されるバナー広告のお披露目が行われました。

《さらなる地域貢献・地域活性化に向けた活動を宣言》

村田社長は、カンロがこれまで生産拠点を中心に松本あめ市など地域行事への参加や創業 80 年を迎えた 1992 年より毎年創業記念日として工場のある 3 拠点への商品寄贈など、地域の皆さまとともに歩む取り組みを大切にしてきたことに触れ、長野県では 1959 年に松本市、2011 年に朝日村で生産を開始して以来、半世紀以上にわたり地域の支えを受けてきたことへの感謝の想いが、今回の取り組みの背景にあると語りました。また、松本山雅 FC のオフィシャルパートナーに至るまでの経緯が紹介され、松本・朝日両工場の従業員からも「松本山雅 FC とともに取り組みたい」という声が多く寄せられたことが、今回のパートナー契約締結の後押しになったと説明しました。

登壇した松本・朝日両工場の従業員 4 名は、松本山雅 FC への熱い想いや、地域に根差したクラブの魅力、オフィシャルパートナーとなったことへの喜びなど、それぞれの言葉で語り、地域に根ざして暮らし、働く従業員の声を通じて、今回の取り組みが、企業とクラブ、そして地域をつなぐ意義ある活動であることが伝えられました。

キャンディ進呈式において村田社長は、キャンディの主成分である「糖」がスポーツにおいて重要なエネルギー源であることに触れ、松本山雅 FC の選手・スタッフのみならず、サポーターや地域の皆さまとともに「正しい糖の摂取」のほか、モチベーションアップやリフレッシュなど糖や飴グミが持つ価値についても伝えていきたいと述べ、「カンロ飴」「金のミルクキャンディ」「ノンシュガー果実のど飴」「まるごとしぼった果実のど飴」「マロッシュ ラムネ味」「カンデミーナグミ スーパーベスト」「ピュレグミレモン」など計 9 商品を進呈いたしました。小澤社長は「お菓子もスポーツも日常に彩を添えるものだと思うので、共通するものがあると思う」と語りました。また、カンロでは、ピッチで戦う選手だけでなく、スタジアムを熱気で包み、チームを支え続けるサポーターも大切なパートナーと捉え、翌日のホーム初戦では来場者へ「健康のど飴」の配布を行うことを紹介しました。



続いて行われたバナーのお披露目では、松本・朝日両工場で生産されている商品が多くある信州から、松本山雅 FC とともに夢や希望、感動を届けていきたいという想いを込めたデザインが紹介されました。スタジアムを訪れる多くの方の目に触れるこのバナーを通じて、パートナーシップへの想いを広く発信していきます。

今後の取り組みに関しては、2026/27 シーズンに、食育教室をはじめとした地域へ向けた活動やパートナーマッチデーの開催を予定しており、松本山雅 FC への支援を通してさらなる地域貢献・地域活性化に向けた活動を始動していく旨を、発表しました。

信州から

あなたへとどく、
ひとつぶを。

Sweeten the Future
Kanro

 カンロ飴	 Puré ビュレグミ	 金のミルク 濃い贅沢	 かんてみ Candemina
 健康のど飴 31種のいたわり素材	 Marosh マロッシュ	 ナッポン	 ヒトツブ カンロ
 ノンシュガー 果実のど飴	 ノンシュガー スパークメントルのど飴	 Puré ビュレグミプレミアム	 Puré ビュレグミ

※一部生産工場が異なる商品もございます

《カンロのスポーツ支援》

カンロは、2017 年よりレノファ山口 FC の「法人サポーター」、2018 年からは「オフィシャルパートナー」として、2020 年より東京ヴェルディ女子サッカーチームのコーポレートパートナーとして活動しています。カンロ創業の地である光市とレノファ山口 FC と協同し、地域住民の健康増進や食育及び食の安全推進に取り組んできた実績を活かし、長野県の皆さまの健康増進、食育及び食の安全の推進などをはじめとした地域貢献、地域活性化を推進してまいります。

《長野県でのカンロの生産拠点》



【松本工場】

長野県松本市笹賀 6002-4

1959 年新設

生産能力：約 17t/日(飴)、約 17t/日(グミ)
 ピュレグミシリーズ、ピュレグミプレミアム、マロッシュ、
 健康のど飴シリーズ、ボイスケアのど飴、
 金のミルクキャンディ(抹茶ラテ、カフェラテ)、etc.



【朝日工場】

長野県東筑摩郡朝日村大字古見字柳久保 2216-1

2010 年新設 (2011 年より稼働)

主な生産商品：

カンデミーナグミシリーズ、ピュレグミ、
 ピュレリング、ピュレグミプレミアム、マロッシュ、
 グミツェル、mofuwa、etc.



＜カンロ展開ブランド＞



■「カンロ」会社概要

社名：カンロ株式会社

代表：代表取締役社長 村田 哲也

所在地：東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
 東京オペラシティビル 37 階

創業：1912 年(大正元年)11 月 10 日

事業内容：菓子、食品の製造および販売

上場市場：東証スタンダード市場 (証券コード 2216)

URL：コーポレートサイト <https://www.kanro.co.jp/>
 KanroPOCKeT <https://kanro.jp/>



当社は 1912 年の創業以来、社名になっている「カンロ飴」を始め、菓子食品業界で初ののど飴となる「健康のど飴」、ミルクフレーバーキャンディ市場売上 No.1 ブランド※「金のミルク」、大人向けグミの先駆けである「ピュレグミ」など、生活者の皆さまから愛される商品を創り続け、成長してまいりました。直営店「ヒトツブカンロ」では、「ヒトからヒトへ つながる ヒトツブ」をコンセプトにキャンディの魅力を発信しております。

2025 年 2 月、「中期経営計画 2030」を策定し、新たに「Kanro Vision 2.0」を定めました。「Kanro Vision 2.0」は、企業パーパス「Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。」の下、ビジョン「Sweet な瞬間を創り続けることで人々と社会に笑顔を。」と 4 つのバリュー「Sweet な瞬間を創造する」「事業基盤を変革する」「未来へ紡ぐ」「創発的な組織の更なる進化」からなり、今後の当社の進む方向性を示したものです。

国内グミ事業を中心に更なる成長を実現するとともに、持続的成長のための事業領域拡大・ビジネスモデル拡張を進め、事業を通じて社会課題の解決に寄与しながら、企業価値を向上させることで、人と社会の持続的な未来に貢献してまいります。

※株式会社インテージ SRI+ ミルクフレーバーキャンディ市場 2024 年 4 月～2025 年 3 月累計販売金額ブランドランキング

■パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」

カンロは、2022 年、企業パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」を定めました。変化が激しく、先行きが不透明・不確実な時代の中、カンロがこれまで歩んできた道程を確認の上、自分たちの未来への想いを言語化したものです。糖から未来をつくり、糖の力を引き出す事に挑み続けてきたカンロが企業活動の中で培った技術をさらに進化させることで、「心がひとつぶ、大きくなる。」瞬間を積み重ねて人と社会の持続可能な未来に貢献してまいります。